

シリーズ 私の使い方

東京慈恵会医科大学様 その1



東京慈恵会医科大学

THE JIKEI UNIVERSITY
SCHOOL OF MEDICINE



FEB 2025

* 人物写真と実際のインタビューの
対応者とは関係ありません。



<UpToDateの評価ポイント・感想など その1>

Q UpToDateはいつごろからどのような目的でご利用し始めましたか？

A 2013年頃、勤務先でUpToDateが利用可能となり、エビデンスベースの診療支援ツールとして利用開始しました。



Q UpToDateの評価ポイントを教えてください。

A 主な評価点:特に専門分野外の疾患や薬剤について、包括的な情報が得られる点が気に入っています。例えば抗生剤投与量に迷った際などに詳細な情報を得ることが可能です。ただし日本の添付文書との相違に留意が必要で、臨床応用時は慎重な判断が求められます。



WK社からのワンポイントアドバイス:

先生が書いて下さっておりますが、UpToDate上の薬剤情報(Lexidrugより)は、FDAに準拠しておりますので、日本の基準と異なるところがありますのでご注意ください。ただし、日本の添付文章に記載がない情報等もありますので、補完として是非ご利用下さい。

医師A

*イメージ。実際の人物とは関係ありません。



<UpToDateの評価ポイント・感想など その2>

Q 現在ご留学されていらっしゃるのですが、現在もUpToDateをご活用いただいていますでしょうか？

A 研究留学中も活用:最新のエビデンスのレビューに用いています。



Q ご留学中を含め、国際的な場面での活用価値について教えてください。

A グローバルスタンダードの治療の確認に役立ちます。日本における標準治療や診断基準が異なっている疾患もあります。



Q UpToDateの弱点について、ご意見があれば教えてください。

A 米国での標準治療(エクスパートオピニオン)を検索するのにはUpToDateは大いに役立ちますが、日本の標準治療とは異なっている場合もあるため逆に治療判断に迷ってしまうケースもありうると思います。

WK社担当より: A先生、この度はご留学中のご多忙のところご回答いただきましてありがとうございました。

Thank you

ご不明な点がございましたら

貴施設のUpToDate利用促進サポート担当の深井までご連絡ください。

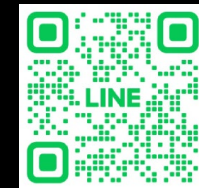
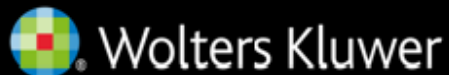
UpToDateについて知っていただく、ご利用いただけるように
サポート・説明等をさせていただきます。オンラインで説明もさせていただきますのでお気軽にお申し付けください。(費用などは発生しません)

Wolters Kluwer Nobutaka FUKAI (深井暢崇)

+81 (0)3 5427 1934 (Direct) / Office +81 (0)3 5427 1930 /

Mobile: +81 (0)70-3191-0357

nobutaka.fukai@wolterskluwer.com



UpToDateに関する
情報が届きます



Webinar案内等が
届きます